

令和7年度 プロジェクト 活動報告書

作成：子ども発達支援総合センターちくたく 安本 元昭

プロジェクト名	支援のつながりプロジェクト
取組期間	令和7年7月～令和8年3月
令和7年度の重点取組	R6年度作成した『支援のつながりガイド（幼児期編）』に続き、『学齢期編』の作成に取り組む
活動概要	<p>R6年度『支援のつながりガイド（幼児期編）』を作成した。就学後に利用する支援機関やサービスは、幼児期と異なることから、就学以後のガイド『学齢期編』の作成に取り組むにこととした。R7年度は小学生年代の事例の作成に取り組み、R8年度以降、中高生年代の事例や社会資源をまとめた地域ケアパス編の作成に取り組む予定。</p> <p>プロジェクトは3回（7/17、9/22、12/1）開催。</p> <ul style="list-style-type: none">● 1回目は今年度の取り組み内容について検討し、作成する事例のイメージの共有を図った。● 2回目は各メンバーが事例を持ち寄り、テキスト上での見せ方や内容を検討。採用する事例を4つに絞り込んだ。● 3回目は、4事例のブラッシュアップを図った。● 作成した事例編は、家族への支援部会に報告した。
抽出された課題	<ul style="list-style-type: none">● 小学生年代の事例の作成だけで1年を要した。中高生の事例の作成、地域ケアパス編の作成…と考えると、さらに複数年必要かもしれない。● これまで作成した事例では、虐待ケースを取り上げていない。虐待ケースを取り上げる場合、プロジェクトのメンバーに児童相談所職員が必要であり、メンバー追加について検討が必要。● 教育と福祉の連携をすすめるツールになるような内容を検討すること。
課題解決に向けた次年度の取組予定	<ul style="list-style-type: none">● 令和8年度は、中高生年代の事例の作成と並行して、地域ケアパス編の作成に着手したい（1年でまとまらない場合は、延長するかもしれない）。● 虐待事例の作成について検討し、作成する場合には、プロジェクトメンバーに児童相談所の参加を依頼する。● 教育、福祉それぞれの支援者が、お互いの理解を深められるような内容、見せ方の工夫について検討したい。